

科目・分野	週時間数	クラス	担当者	
理科	4	ABC	山田 直史, 隅田 由香	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な現象に関する観察や実験を通して、科学的な見方や考え方を養う。</li> <li>中学校で学んだ様々な内容を、分野を超えて、関連づけて考えることができるようにする。</li> </ul>			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	科学的思考力	実験観察技能	知識・理解
	身の回りの現象に関心をもち、より深く知ろうとする態度。	様々な現象に関する疑問を解決するための方法を考えて実践し、その結果から自分の考えを導き出そうとする力。	準備から片づけまで、班員と協力しながら積極的に取り組む姿勢。基本的な操作の習熟。	基本的な学習内容の理解。

学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	生命の連続性 <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の成長と生殖</li> <li>遺伝の規則性と遺伝子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞分裂と生殖について理解する。</li> <li>遺伝の規則性と遺伝子について理解する。</li> <li>観察を通して地球の運動を理解する。</li> <li>北半球と南半球の星の見え方の違いに関心をもつ。</li> <li>月の動きと見え方を理解する。</li> <li>宇宙探査の現在・過去・未来に関心をもつ。</li> <li>課題研究の概念を理解し、テーマを決めて実験を行う。</li> <li>実験結果をデータ化して、統計的に判断する力をつける。</li> </ul>
	期末	地球と宇宙 <ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙の広がり</li> <li>地球の運動と天体の動き</li> <li>月と惑星の見え方</li> </ul> 課題研究活動	
二学期	中間	化学変化とイオン <ul style="list-style-type: none"> <li>水溶液とイオン</li> <li>化学変化と電池</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオンと原子の成り立ちを理解する。</li> <li>イオンの反応と性質を知る。</li> <li>電池の化学変化を知る。</li> <li>酸とアルカリの反応を理解する。</li> <li>物体の運動と力との関係を理解する。</li> <li>力のつり合いと合成・分解を理解する。</li> <li>物体がもつエネルギーの仕事を知る。</li> <li>熱の伝わり方とエネルギーの変換について知る。</li> </ul>
	期末	運動とエネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>物体のいろいろな運動</li> <li>力の規則性</li> <li>エネルギーと仕事</li> </ul>	
三学期	期末	自然と私たちの未来のために <ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の発展</li> <li>持続可能な社会をつくるために</li> <li>自然のなかの生物</li> <li>自然環境の調査と環境保全</li> <li>自然の恵みと災害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気エネルギーや放射線の利用について知る。</li> <li>科学技術の利用と人間生活とのかかわりについて考える。</li> <li>自然界での生物相互の関係を知る。</li> <li>自然環境の調査法を知り、環境保全について考える。</li> <li>日本の気候の特徴を知り、自然のめぐみと災害について考える。</li> </ul>
評価の方法		定期テスト、レポート、実験観察技能、提出物など	
学習活動の特徴		実験や観察をできるだけ多く実施。視聴覚教材も利用。	
授業の形態		一斉授業・実験・実習など	
使用教科書		「新しい科学 3年」(東京書籍)	
使用副教材		「カラーブック理科資料」(とうほう)「理科の自主学習」(新学社) 「3年間の総整理問題集」(正進社) 「ニューエンジョイプリント」(教育同人社)	
用意するもの		通常は教科書、ノート(授業プリント)。必要な場合は実験の材料や副教材などを指示。	
備 考		授業は週2時間ずつに分けて2つの単元を同時進行する。	